

信愛館だより

Vol.140
2022年9月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
http://www.shinaikan.com
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、
（詩篇133の1）
なんといいしあわせ、なんといい楽しさであろう

「20年と花」

田中敦子

さわやかな新緑の2002年5月私は、新館ケアハウス信愛館に入居致しました。「あれから20年」理事長始め施設長その他多くの皆様のお陰により無事20年を迎える事が出来、この上ない喜びと幸せを感じています。最初不安はありましたが、朝鶯のさえずりで目が覚め窓を開け新鮮な空気をいっぱい吸収し一日が始まりました。食事は栄養士調理師による心のこもった食事を「据(す)え膳」「上(あ)げ膳」で20年有難く感謝しています。

私は花が好きです。以前生活を共にし既に退去された先人が残された花木があります。

「石楠花(しゃくなげ)」玄関前に植えられた2本、毎年5月ピンクの美しい優雅な花が咲きます。

「宗旦椿(そうたんつばき)」茶道の先生をされていた方が茶室に生ける椿を残されました。現在幹も太くなり毎年白い清楚な花が咲きます。

「紅(べに)バラ」バラは華やかで花の中の女王の様な美しさです。

「手紙の木」花は咲きませんが昔大きな葉に手紙を書いて出したと伝えられています。小さかった木も見上げる大きさに成長しました。

私個人の思い出の花は「ニオイバンマツリ」入居2年後鹿児島旅行をしました。比較的低木で紫の小花が満開その上芳香に魅了され思わず数本挿木(さしき)に持ち帰りました。現在4本に増え大切にしています。

「芍薬(しゃくやく)」自宅から信愛館3階花壇に移植し毎年豪華な美しい花が咲きます。

「クレマチス」紫とピンクの2色植えて送られて来た花を地植えにした結果、見事に大量の花が咲きます。次に信愛館前花壇ですが、最初はどんな花をいつ植えるか何もわからないまま花屋さん始め花好きの人達に聞き努力の末、どうにか最近皆さんに楽しんで頂ける癒やしの花を咲かせる様になりました。しかし私は老いて足腰が弱り思う様に作業が出来ず落ち込む事が多くなりました。どうか花を愛(め)でる心ある皆様お願いです。花壇に続けて花を咲かせて下さい。私齢(よわい)95才一日一日を大切に無事を喜び感謝し、残された人生信愛館の皆様と仲よく花を楽しみながら前向きに生きて行きたいと思っています。



信愛館前花壇



ニオイバンマツリ

キリスト教 あいうえお (2巡目) — 「再臨」

近江金田教会牧師 横田 明 典

イエス・キリストは、十字架で殺され3日目に甦り、天に昇られた、ということが聖書には書かれています。そして天におられるイエス・キリストがやがてもう一度この世に来られる日が来ることも書かれています。これを「再臨」と言います。この再臨がある時、それは終末の時、神の審きの日、すべてが完成される日、ということになっています。

問題は、再臨がいつ来るのか、ということです。キリスト教の最初期の頃には、再臨の時がすぐにでも来ると信じられていましたが、実際は2千年経ってもまだありません。その「時」は神様にしかわからないのです。

再臨がいつ来るのかわからないという不安の中で、この再臨の実現を強く待望するという信仰も生まれてきました(再臨信仰)。その中から新興宗教も生まれたほどです。

ただ言えることは、再臨が来ないからといって、神様がおられないというわけではありません。その神様の見えない力は、聖霊として与えられているのですから。すべてを神様に委ねて、私たちは日々の生活の中で神様の愛を実現する者になりたいと願っています。

◆ みずの森ツアー (5月19日・25日) ◆



琵琶湖を眺めながらのドライブ。たくさんの種類の花々に出会えました。



◆ もりやま芦刈園・めんたいツアー (6月2日・10日) ◆



もりやま芦刈園ではきれいな菖蒲とあじさいを鑑賞。めんたいパークでお買い物を楽しみました。



◆ 七夕 ◆

工夫を凝らした七夕飾り。今年も見事な七夕飾りが完成しました。



◆夏まつり (8月9日) ◆



たこ焼き屋台の
楽しい演出に
心躍ります。
職員によるハンドベル
演奏。皆様、耳を傾け
て下さいました。



◆折々の食事より◆

4月21日 誕生会

旬のタケノコ御飯にカ
リッと揚がった天ぷら。
毎月の誕生会は皆様楽
しみにされています。



7月7日 七夕

天の川をイメージして。
ちらし寿司の星形の人参
が愛らしいメニューです。

5月5日
端午の節句

こどもの日に
ちなんだ大人
のお子様ランチ。
皆様の笑顔がこ
ぼれます。



7月23日 土用の丑の日

暑い夏を乗り越えるスタミナたっぷりう
なぎ丼。



8月9日 夏まつり

焼きそばにたこ焼き。出店の屋台風。
ジュージューと音と香りも楽しんでいただ
けました。



社会福祉法人近江兄弟社地塩会 令和3年度決算報告

【法人単位貸借対照表】

令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	107,392,434	流動負債	4,537,015
固定資産	506,444,157	固定負債	95,504,075
(基本財産)	(396,251,546)	負債の部合計	100,041,090
(その他固定資産)	(110,192,611)		
		純資産の部	
		基本金	213,000,000
		国庫補助金等特別積立金	158,004,914
		次期繰越活動増減差額	142,790,587
		(内、当期活動増減差額)	(△1,568,118)
		純資産の部合計	513,795,501
資産の部合計	613,836,591	負債・純資産の部合計	613,836,591

【財産目録】

流動資産計	107,392,434
固定資産計	506,444,157
資産合計	613,836,591
流動負債計	4,537,015
固定負債計	95,504,075
負債合計	100,041,090
差引純資産	513,795,501

【法人単位事業活動計算書】

令和3年4月1日～令和4年3月31日

勘定科目		本年度決算額
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	89,356,471
	サービス活動費用計	93,821,523
	サービス活動増減差額	△4,465,052
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	3,310,343
	サービス活動外費用計	413,402
	サービス活動外増減差額	2,896,941
経常増減差額		△1,568,111
特別増減の部	特別収益計	0
	特別費用計	7
	特別増減差額	△7
当期活動増減差額		△1,568,118
前期繰越活動増減差額		144,358,705
次期繰越活動増減差額		142,790,587



編集後記



厳しい暑い夏が過ぎ、朝夕が少しずつ過ごしやすくなってきました。虫の音が変わり季節の移ろいを感じます。今年の夏もマスクは手放せませんでした。入居者様のこやかな笑顔が読みとれます。

これからも、入居者様が安心して過ごせることができますよう、心を合わせ一つ思いになって励んでいきたいと思ひます。

(感謝)